

全国のリスナー・読者のみなさんから、  
ファミリー・フォーラム宛に、Eメールやお便りを頂いています。  
その一部をここで紹介いたします。

●5月18日(金)の慶応大学看護医療学部で103名の学生相手に「アブステナンス教育」講義を実施し、学生から高い関心が寄せられました。全員が、初めてアブステナンスについて聞いたと言う事でしたが、感想カードには  
「私が小さい頃に聞きたかった」  
「私もこの考えを広めたい」  
「周りに流されずに自分を大切にしていこうと思えるようになった」  
「日本でも教えるべき」  
などの意見が多数ありました。将来の看護師や医師など医療関係者になる方々にアブステナンスの話ができたことが本当に感謝です。  
東京都 Iさん

●ジェームス・ドブソン著「男の子を育てる」の書籍とDVDを購入しました。大変読みやすい翻訳であり、とても参考になりました。7年前、双子の女の子に続いて男の子が生まれた際に友人がプレゼントしてくれたのが、「Bringing Up Boys」(原書)でした。当時は本書の始めの面白い部分を読んだだけでしたが(笑)、この数年、異性である息子の育児における私の不安や葛藤が息子の人格形成に大きな影響を与えていることを思い、悩むようになり、以前友人が薦めて

くれたこの本のことを思い出しました。調べてみると日本語訳もあることがわかり、さっそく購入して読んでみました。本書から『男の子』の特性について学んだことが助けとなり、息子の態度や行動が理解しやすくなりました。(それに伴い、私のイライラも軽減されてきていることは言うまでもありません。)本書を翻訳、ご紹介して下さってありがとうございます。  
アメリカ Fさん

●こんど男性のグループで、ポルノや性的な中毒について話す予定があるのですが、日本語で何かよい資料があれば教えてください。  
東京 M 宣教師

**\*編集部より**  
私どもでも販売しています「男か女か」と「脱出の道」の他には、ティム・スタフォード著「セクシャル・カオス」(マルコーシュ・パブリケーション)、ドニー・マクラーキン著「暗闇から光へ」(いのちのことは社)、ジョン・ホワイト「教会と性的罪について」(いのちのことは社)などがあります。参考になりますなら幸いです。アマゾンなどで見つけられます。



●61号の「堀先生に聞いてみよう」にあった日本の精神医療についての回答がとても役に立ちました。ありがとうございます。  
長野県 Kさん

●本の注文に関して、お尋ねしたいことがあります。現在、日本語訳で発売されている以下の書籍の英語版を購入したいのですが、可能でしょうか。「男の子を育てる(Bringing Up Boys)」「意志の強い子(The New Strong-Willed Child)」  
愛知県 Tさん

**\*編集部より**  
申し訳ございませんが、あいにく私どもでは英語の書籍の販売はしておりません。しかし、アマゾンから入手可能ですので、ぜひご利用ください。

**「人生最高の出会い」 新代表の著書**

～瞬間的な出会いが永遠の運命を変えることもある～

気仙沼市の親戚のお寺で育てられた明德少年は、高校卒業後、東京の英会話教室で出会ったアイキャン普宣教師を通してイエス・キリストの福音を聞いた。それが人生の転換点となった。FFJ新代表のライフ・ストーリー。

千葉明德著 B6判、155ページ イーグレイプ

●定価840円(税込み、送料別)

**【推薦のことば】**

「神との出会い、信仰者との出会いこそが、現在の先生を作ったものと考えられます」  
聖路加国際病院理事長 日野原重明

「先生は、裸一貫で、体当たりで、開拓伝道をなさり、シャローム福音教会を立派に建てられました。地域に仕える働きも多くあり、ひとたび立ち上げられると、人を動かし、行政を動かし、地域をまとめて行く果敢な精神をおもちです」  
本郷台キリスト教会 池田博牧師



**【お知らせ】**

今年の6月から、テモチ・コールに替わり千葉明德(あきのり)が、ファミリー・フォーラム・ジャパン代表となりました。

千葉牧師は1935年生れ。横浜市にて、長年シャローム福音教会牧師、およびシャローム保育園園長として奉職しました。コール前代表とはまた違った切り口で、この働きを押し進めて参ります。マガジン読者の皆さまにも、どうぞよろしくお願いたします。

千葉新代表の著書販売しております。どうぞお求めください。

**お便り募集**

編集部では、皆様からのご意見やご感想をお待ちしています。

home.office@ffj.gr.jp  
TEL&FAX 045-933-3875

